



令和5年5月12日

各 位

会社名 株式会社松屋フーズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 瓦 葺 一 利
(コード番号 9887 東証プライム)
お問合せ先 専務取締役 丹沢 紀一郎
(TEL 0422-38-1121)

令和5年3月期業績予想値と実績値の差異、営業外収益および減損損失の計上に関するお知らせ

令和4年11月4日に公表した令和5年3月期(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和5年3月期の連結業績予想数値と実績値の差異(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益 又は営業損失(△)	経 常 利 益 又は経常損失(△)	親会社株主に帰属す る当期純利益 又は当期純損失(△)	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 又は当期純損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 104,500	百万円 1,000	百万円 3,300	百万円 1,400	円 銭 73.47
実績値(B)	106,598	1,468	3,914	1,255	65.87
増 減 額 (B-A)	2,098	468	614	△144	
増 減 率 (%)	2.0	46.8	18.6	△10.3	
(参考) 前期通期実績 (令和4年3月期)	94,472	△4,200	6,398	1,105	57.99

2. 差異が生じた理由

連結売上高は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスク低下等により、経済活動の回復が顕著となったこと等により、前回発表予想を上回りました。

営業利益、経常利益については、売上高の上昇により固定費の占める割合が低下し、前回発表予想を上回りました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、エネルギー費の上昇傾向等により、減損損失が前回発表時の予想を上回り、前回発表予想を下回りました。

3. 営業外収益および減損損失の計上について

(1) 営業外収益の計上について

新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金等の収入を「助成金等収入」として、1,991,194 千円を計上いたしました。

(2) 減損損失の計上について

令和5年3月期会計期間において、当社グループが運営している店舗などの固定資産等の将来の回収可能性を検討し減損損失 1,256,013 千円を計上いたしました。

※上記(1)および(2)の業績に与える影響については、本日公表の「令和5年3月期決算短信【日本基準】(連結)」に反映しております。

以上